出スルニ至レリ。尙くさまるはちハ四國ニテハ初メ幡多郡八束村山路ニ於テ見出サレ其後絕エテ其所生ヲ見ラレザリシガ先般比較的多數發見サレ又おほいはひとでモ幡多郡以東ニ於テハ初メテ此地ニ於テ採集サレタリ。又あついた、すぢひとつば、あみしだ等ハ旺盛ナル發育ヲナセリ。

次ニ著シキ顯花植物ノ知ラレタルモノ左ノ如シ

はるざきやつしろらん、むえふらん、なごらん、きばなのせきこく、かんらん、ほしけい、まやらん、かうちてんなんしやう、しやくぢやうさう、ひろはのみみづぼひ、しそばうりくさ等。

尙 *Hosta* 及 *Heterotropa* 等未詳ノモノ多ク葉上苔類ノ種類モ亦甚ダ多數見出サレツツアリ。

○植物名稱餘談（檜山庫三）

1) のはらくさふぢ桂川ヲ下ル

大陸ノ植物のはらくさふぢ（*Vicia amurensis* OETTINGEN）ガ岳麓ヲ初メ信濃ヤ武藏ニモ多少產スル事ハ既ニ報告サレテキルガ、最近私ハ中央線鳥澤附近ノ桂川緣デ本種ヲ採集シタ。之ガ岳麓カラノ種子ノ流下ニ因ルモノデアル事ハ容易ニ想像サレルガ、ソノ小葉ノ長サハ15–25 mm ヲ算シ var. *silvatica* ニモ var. *pratensis* ニモ入レニクイ。岳麓ニハ var. *silvatica*（西湖畔）ヤ var. *pratensis*（諏訪ノ森）ニヨク合致スルモノモ無クハナイが、概ネ小葉ノ長サハ 2 cm 前後ノモノガ多イカラ、少クトモ本州デハ、小葉ノ長サニヨリ變種ヲ分ツ事ハ不自然デアル。又本州產のはらくさふぢデハ莖、葉羽軸及ビ萼ハ常ニ多少ノ毛ヲ有シ、小葉ノ裏面モ亦幾分有毛ノ場合ガ多ク、ソノ質モ概シテ厚イ感ガアル。コノのはらくさふぢハ外觀ガひろはくさふぢ（川上氏 1895 年）ヤつるふぢばかま ニ似ル爲カ、日本植物總覽補遺デハ本種ノ分布ガひろはくさふぢノソレト混同サレテキルラシク、又續日本植物圖譜 3059 圖「のはらくさふぢ」トアルモノハ眞ノのはらくさふぢニ似テ非ナル別種デアル。和名のはらくさふぢ（中井博士 1914 年）ハ小葉ノ長イ品ニ命名サレタモノデアルガ、又牧野博士モ餘程以前カラふじくさふぢノ名ヲ與ヘラレテキタ。尙コノ他、ひろはくさふぢ（中井博士 1914 年、短小葉品）、のはらゑんどう（長小葉品）、このはらくさふぢ（短小葉品）ナドノ名ガアル。

2) あをこあかそニ二品アリ

こあかそノ一品ニ新莖、葉柄、葉主脉ノ綠色ノモノガアツテ、之ニ牧野博士ハあをこあかそ *Boehmeria spicata* THUNB. f. *viridis* MAK., Ill. Fl. Nipp. (Oct. 1940) 642——Syn. *Boehmeria spicata* f. *viridescens* MAK. in 實際園藝 XXVI. (Dec. 1940) 1188 ト命名セラレタガ、コレヨリ先ニ佐竹博士ガくさこあかそノ一品ニ與ヘラレタ同名ノあをこあかそ *Boehmeria paraspicata* NAK. f. *viridis* SATAKE (1936) ト云フモノガアツテ甚ダマギラハシイ故、コヽニこあかそノ一品タルあをこあかそ（牧野）ヲみどりこあかそ（新名）ト改メタイ。尙みどりこあかそノ學名ハ上記ノ如ク二通リガ同ジ年ニ同ジ人ニヨリ發

變サレテキルガ、斯カル例ハあをやまうるし。*Rhus trichocarpa* MIQ. var. *viridescens* MAK., Ill. Fl. Nipp. p. 371—Syn. *Rhus trichocarpa* var. *viridis* MAK. in 實際園藝 XXVI. (Nov. 1940) 1086 ニモ見ル事ガ出來ル。然シ之等ノ學名ハ皆嚴格ナ意味デノ有效名トハ云ヒ難イモノデアル。

3) 白花はまなすト八重白花はまなすノ學名

はまなすノ白花品ノ學名トシテハ *Rosa rugosa* THUNB. var. *albiflora* KOIDZ. in Bot. Mag. Tokyo XXIII. (1909) 180 ヨリ *Rosa rugosa* var. *alba* REHD. in BAILEY, Cycl. Am. Hort. IV. (1902) 1556 ノ方ガ早イ。其故ソノ八重咲白花品ニ命ゼラレタ *Rosa rugosa* var. *albiflora* f. *plena* IWATA in Bot. & Zool. V (1939) 2190 ノ名ハ使ヘヌコトヽナルガ、幸ヒニ *Rosa rugosa* var. *albo-plena* REHD. in BAILEY, St. Cycl. Hort. V (1916) 2992 ト云フ名ガアルカラ之ヲ用ヒタラヨイデアラウ。尚 REHDER ハ Cycl. Am. Hort. IV (1902) 1556 デ *Rosa rugosa* var. *alba plena* ト記シテキルガ rank ノ確認ヲ缺ク故ニ之ハ不問ニ附シタ。

4) けほそばしもつけノ學名

コレハ一般ニハ *Spiraea japonica* L. var. *pubescens* (RGL.) KOIDZ. in Bot. Mag. Tokyo, XLIII. (1929) 400 ガ使ハレテキルガ、之ヨリ前ニ *Spiraea japonica* var. *pubescens* RGL.; REHD. in BAILEY, Cycl. Am. Hort. IV (1902) 1703 ガアル。REGEL ガ何時何處デコノ變種名ヲ作ツタカハ私ニハ不明デアルガ、恐ラク之ハ *Spiraea callosa* var. *pubescens* RGL. ノ改組名デアラウ。ソシテ或ハ apud REHDER デアリ var. *pubescens* (RGL.) REHD. トスルノガ本當カモ知レヌガ、コヽデハ兎ニ角 var. *pubescens* KOIDZ. ヨリ早イ同一名ノアル事ダケヲ報ズルニ止メル。

5) けかりやすもどき（新稱）

かりやすもどきハ花軸ヤ小梗ノ緣ニ沿ツテ毛ノ無イノガ本態デ、駿河ノ富士山ヨリノ標本カラ書イタ *Miscanthus Matsumurae* HACK. ノ記載ヲ見テモ、亦野州日光山ノモノカラ記載シタ STAPF ノ文句ヲ探ルモ、共ニ無毛トナツテキル。然シかりやすもどきノ中ニハ往々ニシテコノ部分ニ硬イ毛ノ生ズルモノガアツテ、本州ヤ四國ノ山地ニ產スル事ガ分明シタ。今之ヲ一品種ト認メけかりやすもどきト新稱スル。

Miscanthus oligostachyus STAPF forma **ciliatus** HIYAMA, nov. f.

A typo recedit rhachis pedicellisque longe ciliatis.

Hab. Honsyu: Prov. Sagami, Negoya (R. KUBOTA, Jul. 1930—in Herb. Mus. Tokyo). Sikoku: Prov. Iyo (H.M.T. no. 57769).